

2020 高原沼巡り登山 ニュース

6月19日～6月27日

NO.1
第1号(6月28日)
発行:ヒグマ情報センター



①大雪山では、どこも雪が少ないと言われている今年。沼コースもかなり少ない積雪です。この時期、看板も埋まっていることの方が多い緑沼も、木道まで出ていました。(6月24日)



⑥高原沼もすっかり顔を出しています。空の色を映し出し、真っ青の沼が白い雪渓とのコラボレーションにより、初夏らしいさわやかな景色を演出していました。(6月24日)



⑦空沼です。毎年ダイナミックな雪渓を見せてくれる場所ですが、今年は少し控えめな感じです。ですが、大きく割れた雪渓を見ると、やっぱりたが「スゴイ」と、思ってしまう。(6月26日)



②チツマガクラ。桜としてはもしかすると日本一遅い場所かもしれませんが、花見をしたいところですが、ここは、湯の沼。食事指定場所ではないので、眺めるだけにしましょう。(6月20日)



③エゾ沼です。沼に潜った雪が青く、雪解け水特有の色合いを映しています。この時期左コースでは一番の難所。足を滑らすと沼へドボン… しないように慎重に。(6月21日)



⑧キバナノコマノツメが右コースで見頃になってます。足元にも沢山咲いています。踏まないように気を付けて歩きましょう。(6月26日)



⑨右コースの難所の一つ、渡渉場所。今年は水量が少なく歩きやすいですが、雨の後や気温の高い日は、水位が上がり、渡渉が困難になることもあります。通行は慎重に。濡れた石も滑りやすいです。



④高原沼に向かう登山者。この時期、ほとんどの登山者が三笠新道を目指しています。ですが今年は、すでにヒグマが出没し始めてます。もしかすると間もなく通行止めになるかもしれません。(6月21日)



⑤痕跡はたくさんあるのに、中々姿を見せない動物。エゾキウサギ。すっかり夏毛に変わってます。大学沼にひょっこり顔を出し、しばらくたずんでいました。何を考えこんでいるのやら。(6月26日)



この時期、厄介なのが歩道の残雪。踏み抜いたり滑ったり。毎日パトロールが切り崩していますが、朝、歩けたところかり帰りに踏み抜くこともあります。気を付けてに通行しましょう。



ヒグマ情報。斜面でヒグマが、活動を始めました。25日と26日に単独の若い個体。26日と27日にオスとメスのペア。痕跡は、19日、22日、23日に足跡。20日に歩道に糞。22日にミズバショウを食べた跡がありました。